

令和8年1月19日(月)  
公益社団法人福島県宅地建物取引業協会様

# 東北の鼓動 未来を奏でる 「選ばれるまち」郡山

---

郡山市長 椎根 健雄

# 自己紹介

## Personal Information



第15代  
郡山市長 しいね 椎根 たけお 健雄

郡山市立大島小学校 卒業  
郡山市立郡山第五中学校 卒業  
福島県立安積高等学校 卒業（108期）  
新潟大学農学部 卒業

高校時代は、将棋部に所属していました。  
ジツと我慢の受けの戦型が得意です。  
大学時代は、大豆の研究をしていました。  
早朝3時から開花状況観察に通い続けたことも…

昭和52年1月20日生まれ（48歳）  
郡山市日和田町在住

一つ一つのことを突き詰める粘り強さを養う

# 自己紹介（政治の世界へ）

大学卒業後地元へ帰省  
青年会議所や商工会で多くの同世代の若者と関わる

（平成23年3月11日 東日本大震災発災）

平成23年11月 福島県議会議員（1期）

平成27年11月 福島県議会議員（2期）

（令和元年10月 東日本台風発災）

令和元年11月 福島県議会議員（3期）

（令和元年～ 新型コロナウイルス感染症の流行）

（令和3年2月13日 福島県沖地震発災）

（令和4年3月16日 福島県沖地震発災）

令和5年11月 福島県議会議員（4期）

令和7年4月 郡山市長（1期）

- ・ 4月27日 初登庁
- ・ 6月13日～7月2日 市議会6月定例会
- ・ 9月3日～10月1日 市議会9月定例会

福島県議会議員時代



災害現場で聞いた市民の「声なき声」を政策につなげたい



今後も一貫して「市民目線」と「現場主義」の政治を貫いてまいります

市政運営がスタート！

# 市長就任から約260日



MAYOR'S OFFICE  
市長の部屋



4月27日 初登庁！



シティーマラソン



多数の表敬訪問・行事へのお誘い・御寄附など

本当にありがとうございます。

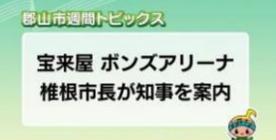
今後とも、よろしくお願ひいたします。



## <私の行政運営における信条>

- 「誠実さ」と「粘り強さ」を大切に
- 市職員の知恵を活かすボトムアップ型の運営を
- わかりやすく・親しみやすい情報発信を

今後も、市政発展のため、積極的に行事に参加・トップセールスしてまいります。



**「猪苗代湖」**  
**2025年7月15日 ラムサール条約登録！**



**市政運営と政策・補正予算**

# 市政運営の3つの柱

## 国の動向

### 「地域未来戦略本部」の設置

- ・ 地方が持つ伸び代を活かし、地域ごとに産業クラスターを形成する
- ・ 地場産業の付加価値向上と販路開拓を支援

基本的考え

合 致

## 市政運営の3つの柱

相互補完する3つの柱

1 選ばれるまち

2 暮らしの充実・笑顔になれるまち

3 経済の活性化

持続可能な郡山の未来を築いていく基盤<sup>6</sup>

# 1 選ばれるまち

「郡山らしさ」にさらに磨きをかける



「猪苗代湖」

2025年7月15日 ラムサール条約登録！

開拓者精神

陸の港

中核市

経済県都

音楽都市(楽都)

連携中枢都市圏

SDGs未来都市

セーフコミュニティ

## J R 郡山駅西口の交通混雑対策

郡山駅西口ロータリーの改修等をはじめ、郡山駅周辺全体の混雑対策等に取り組みます。

→詳細においては、この後に説明します。

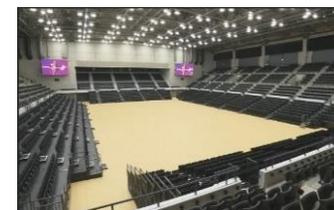


# 2 暮らしの充実・笑顔になれるまち

## 市民の皆様一人ひとりが安心した暮らしを営めること



- 暮らしに豊かさと活力を与える  
文化・芸術・音楽・スポーツの振興  
・開成山体育施設リニューアル  
・地元トップスポーツチームとの連携



宝来屋ボンズアリーナ

- ファミリーが住みやすいまち  
・保健・教育・医療の連携強化  
・学童保育の充実  
→家庭の多様なニーズに応える



こども食堂の活動

## 防災・減災への備え ～命を守るインフラの整備～

### ○気象災害への備え



準用河川の河道掘削工事



市独自に雨量計を設置

### ○避難所の機能拡充



ワンタッチパーテーションの整備



気化熱冷風機の設置

# 3 経済の活性化

## 持続可能な地域経済の発展を目指して



- 経済県都の強みを活かす政策を
- 地元企業の成長支援、新たな企業誘致を

## 健康医療先進都市のブランディング

農商工等連携による  
販路拡大も

福島県は国内屈指の「医療機器生産県」!



医療用機械器具の  
部品等出荷金額  
(2021) 全国 第**1**位

医療機器  
生産金額  
(2022) 全国 第**3**位



ふくしま医療機器開発支援センター

# 年頭市長記者会見 を開きました

月 年頭市長記者会見

令和8年1月5日(月) 11:00

【次 第】

会

目説明

問(項目、フリー)

会

郡 山 市

## 主な内容

- ◆台北市政府教育局との教育交流に関する覚書を締結します
- ◆新しい郡山市フロンティア大使を委嘱します
- ◆(仮称)西田敏行メモリアルコーナーの設置場所をビッグアイで調整

## I 地域の課題解決

## 渋滞緩和に向けた西口ロータリーの改修等を実施

6,000万円

デジタル新技術を活用した舗装点検を実施

617万円

## 東部地区でデマンド型交通導入の社会実験を実施

507万円

## II 子育て・教育・保健福祉・物価高騰対策

放課後児童クラブの夏季教室を試行的に開設

92万円

A I を活用した相談内容要約システムの導入

755万円

若い世代の結婚新生活を応援

4,302万円

遠方での妊婦健診等の交通費を支援

852万円

中学校給食センターを集約化・新設

※ 141億3,208万円

国民健康保険税率等の本算定を実施

3億7,574万円

## III 経済・雇用創出・地域創生

農商工等連携による販路拡大

194万円

KORIYAMA発スタートアップをサポート

457万円

事業者の省力化投資と脱炭素経営をサポート

400万円

企業誘致及び立地企業の事業拡大を推進

582万円

日本遺産「一本の水路」RPGアプリの制作

※ 458万円

郡山ユラックス熱海長寿命化対策の実施

1,786万円

## IV まちづくり

こおりやま広域圏の魅力向上策促進

870万円

LINE連携で図書館サービス向上

29万円

旧豊田貯水池の利活用を推進

802万円

## V 防災・都市力の強化

愛宕川（善宝池）等の浸水対策を実施

3億2,466万円

消防団の活動拠点の充実

239万円



【中学校給食センター整備事業】



【海外販路開拓】

6月補正予算

※債務負担行為

# 新 渋滞緩和に向けた西口ロータリーの改修等を実施

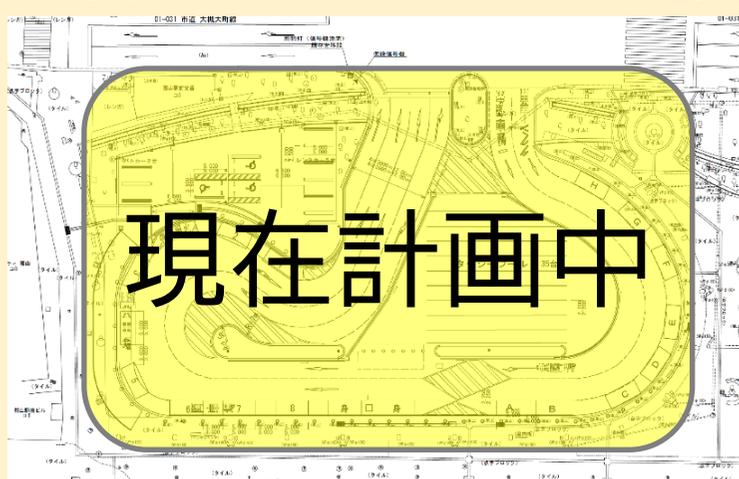
～駅前広場施設改修事業費の一部～



6,000万円

財源区分：単独

郡山駅西口ロータリーの改修をはじめ、郡山駅周辺全体の混雑対策等に取り組みます。

	短期対策	中期対策	長期対策
対策	<p><b>社会実験</b></p> <p>一般車の待機場所を設置</p> <p>↓</p> <p>中・長期対策へ反映</p> <p>令和7年度社会実験活用箇所(案)</p> <p>①タクシープール ②郡山駅西口駐車場 ③郡山駅周辺の市道の路肩</p>	<p><b>郡山駅西口ロータリーの改修</b></p> <p>一般車ゾーンとタクシーゾーンの分離等</p>  <p>現在計画中</p>	<p><b>郡山駅周辺全体の渋滞対策</b></p> <p>西口、東口周辺全体において対策を実施</p>  <p>一方通行道路の区分変更等</p> <p>歩行者</p> <p>タクシー乗降</p> <p>一般車乗降</p> <p>自由通路</p> <p>駅前大通り</p> <p>日の出通り</p> <p>路線バスルートの変更</p> <p>バス</p> <p>駅空間</p> <p>東口への誘導</p> <p>待機、乗降スペースの確保</p>
令和7年度		<p>○基本設計：一般車及びタクシーゾーンの位置や進入ルート等を検討</p>	<p>○基本構想：改善すべき箇所を検討</p> <p>○交通量調査 ○交通量予測</p>
令和8年度	<p>○実証実験等</p>	<p>○実施設計：改修工事に向けた詳細な設計</p>	<p>○基本計画：基本構想を実行するための具体的な方法等を検討</p> <p>○補足調査</p>
令和9年度		<p>○改修工事</p>	<p>○対策の実施：路線バスルートの変更、一方通行区分変更等</p>

**6月補正予算**

## 交通社会実験の概要

**【乗降場位置図】**

実験場所\月日	11月10日	11月17日	11月23日	11月30日
①郡山駅西口ロータリー	■	■		
②郡山駅西口駐車場（市営）	■	■		
③郡山駅東口周辺の市道			■	■

**【概要】**  
特に混み合う16時から21時の時間帯に臨時的乗降場を設け、西口ロータリーの混雑解消に向け、駅西口周辺の3箇所において、臨時的乗降場を設置し、混雑緩和への効果などを把握するため、アンケート調査等を行います。

## 実験場所① 郡山駅西口ロータリー

**【概要】** タクシー待機レーンの一部を臨時的乗降場にします。

乗降場を設けることによる効果を確認

日時：11月10日(月)～23日(祝)16:00～21:00

## 実験場所② 郡山駅西口駐車場（市営）

**【概要】** 駐車場に空きがある場合は、臨時的乗降場として利用します。

駐車場の距離と利用率の関係性を確認

日時：11月10日(月)～23日(祝)16:00～21:00

## 実験場所③ 郡山駅東口周辺の市道

**【概要】** 市道の路肩の一部を臨時的乗降場にします。

交通需要の分散利用を確認

日時：11月17日(月)～30日(日)16:00～21:00

## ■調査結果

### (1) 臨時乗降場の利用台数 905台

- ①郡山駅西口ロータリー 累計886台 最大106台/日【11/16(日)】
- ②郡山駅西口駐車場(市営) 累計 7台 最大 2台/日【11/11(火)・11/16(日)】
- ③郡山駅東口の市道 累計 12台 最大 10台/日【11/29(土)】

▼表1 西口ロータリーの混雑時の利用台数(金曜日、単位:台)

箇所	10/24 (金)	11/14 (金)	11/21 (金)	11/28 (金)
既存乗降場	622	681	731	—
①臨時乗降場(西口ロータリー)	—	96	91	—
(西口ロータリー合計)	622	777	822	—
②臨時乗降場(西口駐車場(市営))	—	2	0	—
③臨時乗降場(東口市道)	—	—	1	0

実験前

※16-21時の利用台数。灰色着色は社会実験実施なし。  
※既存乗降場利用台数の計測は金曜日のみ。

利用台数32%増加



▲図1 西口ロータリーの利用台数(一般車) ※16-21時

### (2) 西口ロータリーの利用時間(一般車・19時台)

▼表2 西口ロータリーの利用時間

	利用時間 (平均)	15分以上の 利用割合
10月24日 (金・実験前)	13.6分	44%
11月14日 (金・実験中)	5.8分	8%
11月21日 (金・実験中)	7.1分	13%
	平均6.5分	平均10.5%

利用時間が  
52%短縮

滞在15分以上の車両が  
大幅に減少

※利用時間:郡山駅西口ロータリーへ入ってから出るまでの時間

## (3) 西口ロータリーの渋滞の長さの変化

▼表2 最大の渋滞の長さ(主要地方道郡山停車場線)

	10/24(金)	11/14(金)	11/21(金)
最大渋滞の長さ	150m(20時台) (直進流入)	<b>40m(19時台)</b> (直進流入)	<b>100m(19時台)</b> (直進流入)

平均70m(53%減少)

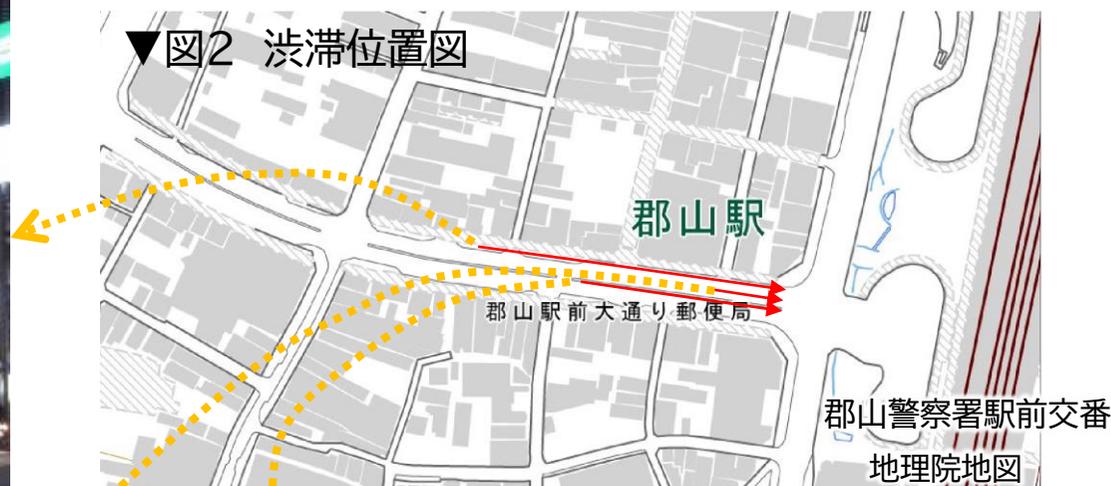
実験前

▼写真1 渋滞状況(10/24(金) 20時台)

社会実験実施前

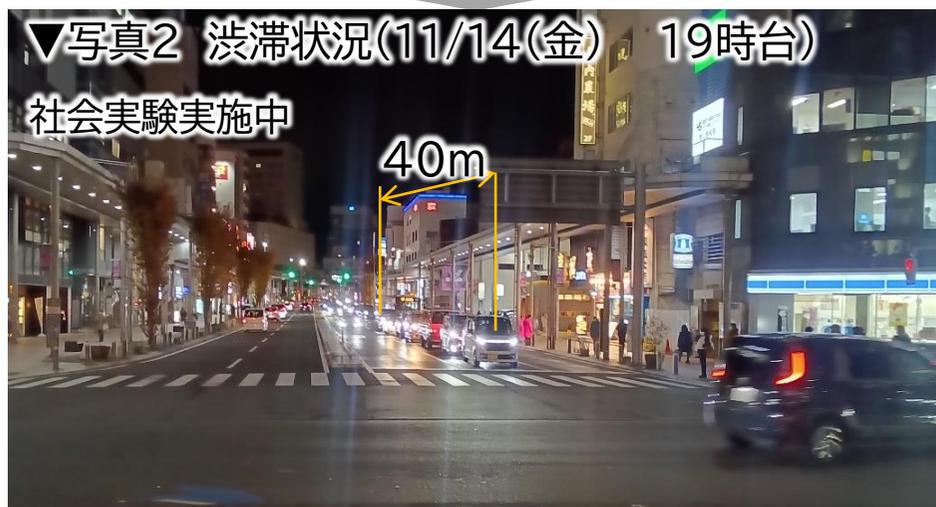


▼図2 渋滞位置図



▼写真2 渋滞状況(11/14(金) 19時台)

社会実験実施中



▼写真3 渋滞状況(11/21(金) 19時台)

社会実験実施中

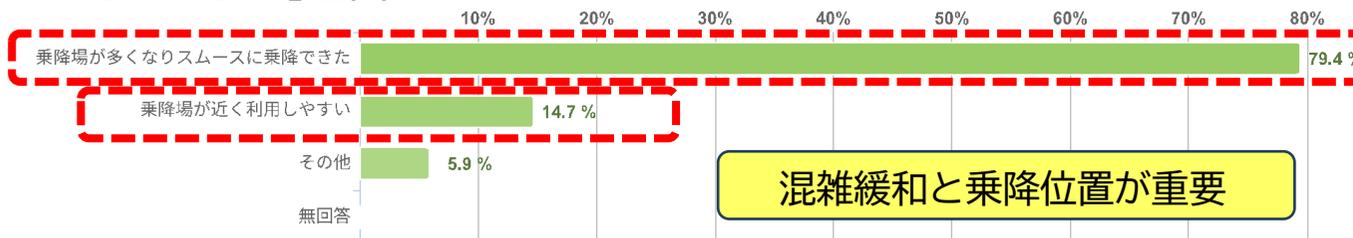


## (4) アンケート結果(抜粋)配布数 697票、回答数 199票、回収率 28.5%

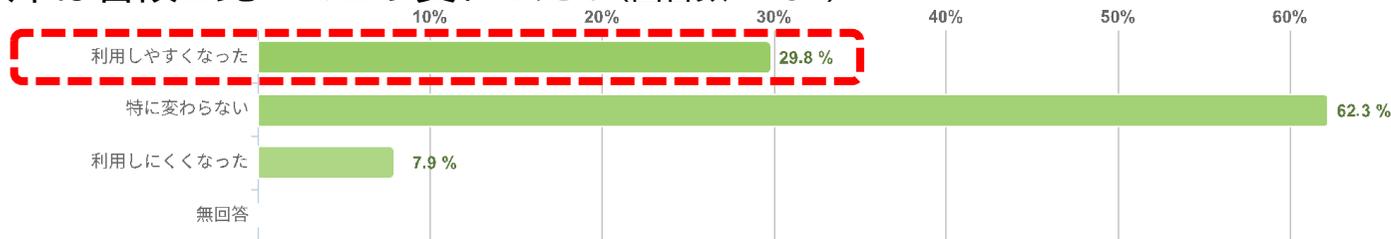
・臨時乗降場はあったほうが良いか(回答数=36)



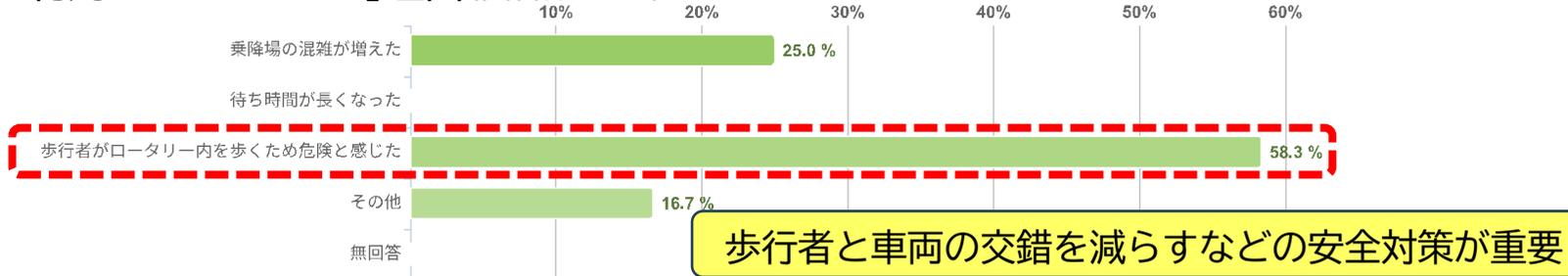
・「あったほうがよい」理由(回答数=34)



・社会実験中は普段と比べてどう変わったか(回答数=151)



・「利用しにくくなった」理由(回答数=12)



## ・利用頻度



週1回以上の利用が半数を超える

「あったほうが良い」と答えた方が約9割

「スムーズに乗降できた」「乗降場が近い」と答えた方が合わせて約9割

「利用しやすくなった」と感じた方が約3割

“歩行者が危険”と感じた方が約6割

## (5) 交通社会実験のまとめ(3つの傾向)

- 乗降場の増設(6台分)は、渋滞軽減に一定の効果があった
- ロータリー混雑時であっても、乗降場が離れていると利用はほとんどなかった
- 長時間の乗車待ちの車両が、渋滞要因のひとつ

# ① 東部地区でデマンド型交通導入の社会実験を実施

～公共交通サービス維持対策事業～



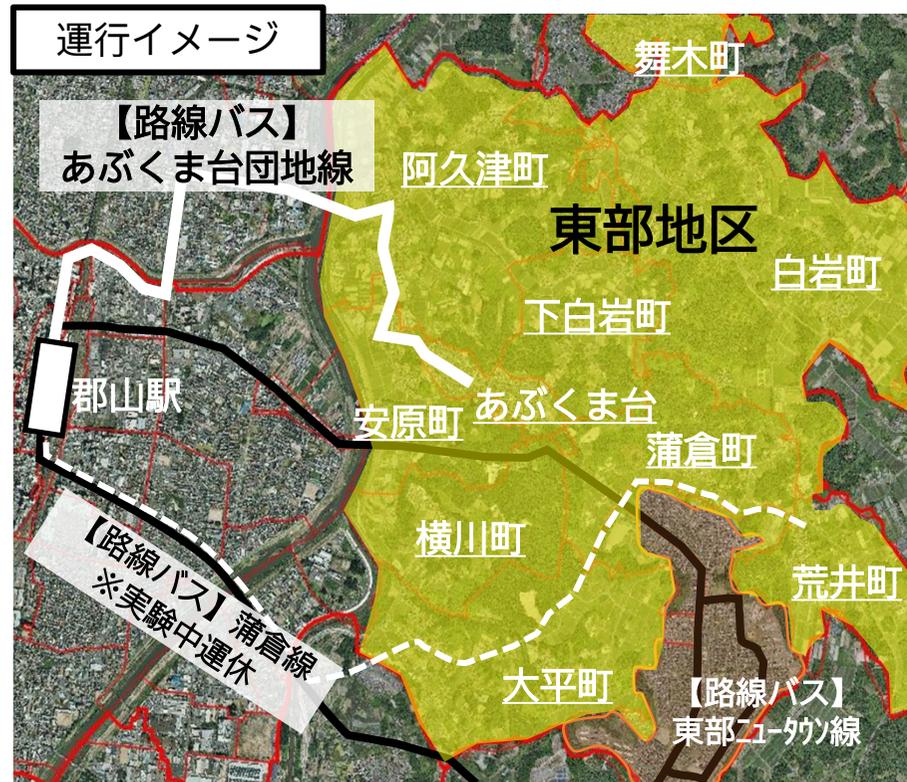
507万円

財源区分：補助 国1/2

大規模商業施設や医療施設等が立地しておらず、公共交通空白地の割合が高い東部地区において、デマンド型交通の導入可能性を検討する社会実験を実施します。

## 1 社会実験の内容

運行	①通勤通学時間帯 既存路線バス（あぶくま台団地線）を運行	※実験中は 蒲倉線を 終日運休
	②上記以外の日中 路線バスの代わりに、 <u>ワンボックス型車両を活用したデマンド型交通</u> を“乗り合い”にて運行	
対象者	誰でも利用可	
予約	電話等による事前予約制	
運賃	1人1回500円、障がい者・高校生以下250円	



## 2 事業スケジュール

令和7年度		令和8年度	
7～9月	10～12月	1～3月	4月～
入札契約	運行実験準備 事業周知	社会実験 2か月	結果分析 導入準備



## 社会実験の内容

■ デマンド型交通により、自宅から指定目的地まで“乗り合い”で移動

概要



※朝夕は利用者数を鑑み、路線バスでの運行を継続します

運行便

行	乗車のみ		降車のみ		
	出発地	目的地	到着時間	目的地	到着時間
1便	東部地区	星総合病院	10:00	郡山駅東口	10:05
2便		ベニマル横塚店	14:00		14:05
帰	乗車のみ				降車のみ
	出発地	出発時間	出発地	出発時間	目的地
3便	郡山駅東口	11:00	星総合病院	11:05	東部地区
4便		15:00	ベニマル横塚店	15:05	

対象者

誰でも利用可

予約

電話・システム(PC、スマートフォン)による事前予約制  
■受付締切 ○1・3便→利用日前日17:00 ○2・4便→利用日当日12:00

運行期間

12月1日(月)～1月31日(土)  
※1月1日・1月2日は正月ダイヤのため運休予定

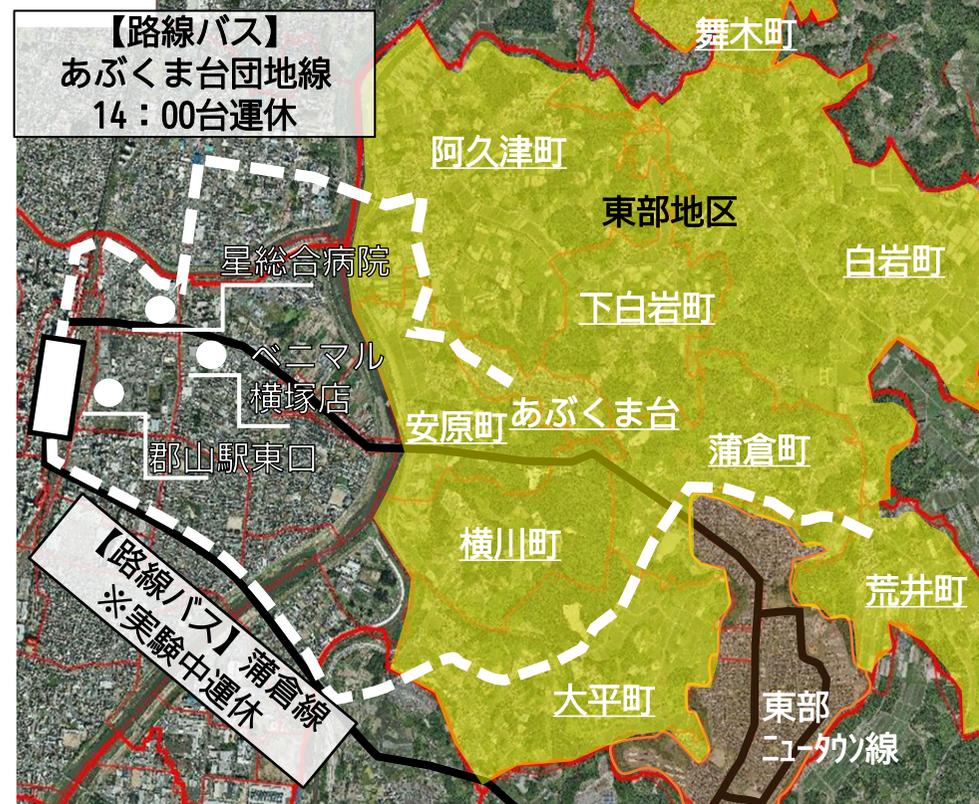
運賃(人/回)

■大人:500円 ■障がい者・高校生以下:250円  
■乳児(1歳未満):無料  
■幼児(未就学児):2人までは無料 3人目以降は250円/人

活用車両

トヨタ:ハイエース(1台) 定員:12名(乗務員1名を含む)

## 運行地区



## 運行事業者

福島交通株式会社



## I 選ばれるまち

○「ペップキッズこおりやま」にWEB予約システムを導入	250万円
○効果的な企業誘致に向けた動向調査を実施	150万円
○「選ばれるまち・こおりやま」レポートの作成	66万円
○ラムサール条約登録、次の一步を	122万円
○公立保育所の児童の安全対策	130万円



【ラムサール条約登録証授与】

## II 新たな行政課題や需要への対応

○高齢者施設の防災・減災対策を推進	3,021万円
○東山悠苑 冬期の火葬対応件数を拡充	209万円
○トマト黄化葉巻病への緊急対策	540万円
○安全で円滑な道路環境の整備・改善	1億9,900万円



9月補正予算

【舗装完了後の市道】



66万円

## 新 「選ばれるまち・こおりやま」 レポートの作成

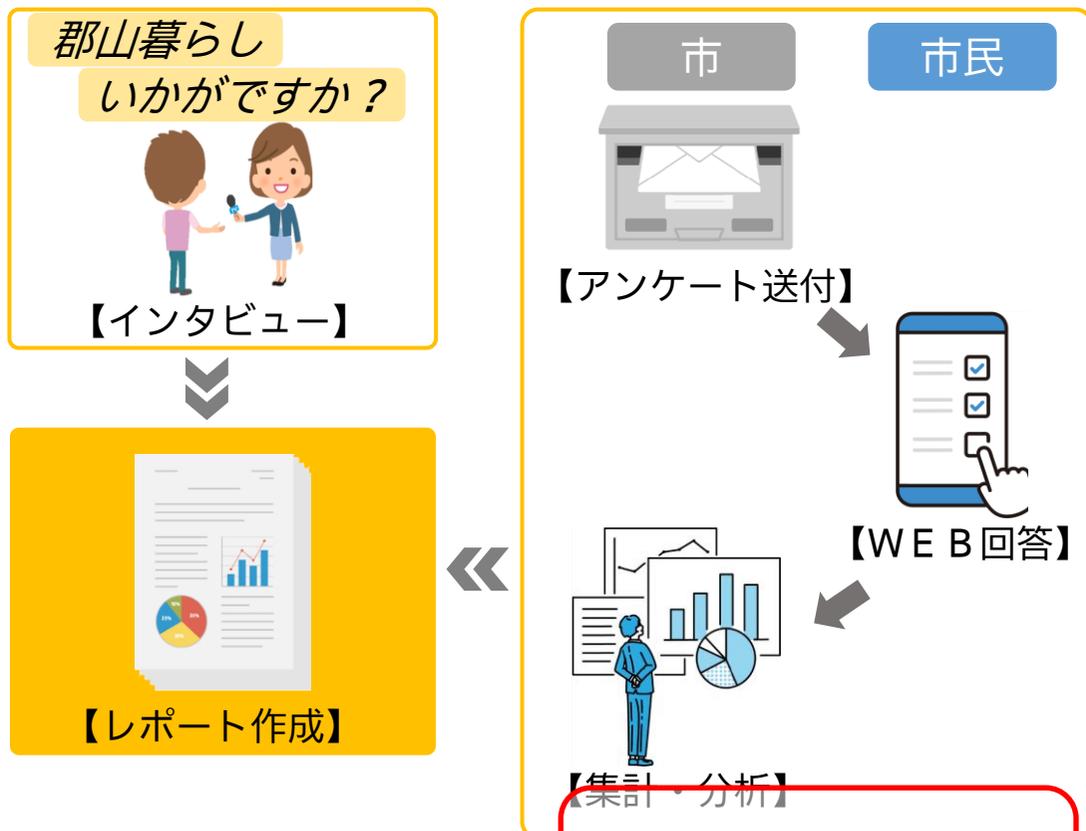
～移住・定住促進事業～

財源区分：単独

本市に転入した市民に対し、生活実感等に関するインタビューやアンケートを実施し、今後の移住定住政策の更なる充実に繋がります。

### 概要

- ◆目的
  - ✓ 転入（移住）者の“声”を今後の移住定住施策に反映
- ◆対象者
  - ✓ 令和4年度以降に転入した市民
- ◆内容
  - ✓ インタビュー・アンケート調査（居住継続意志・転入理由・満足度等）
  - ✓ まちの魅力・優位性や課題の把握
- ◆効果
  - ✓ 転入後の定着支援、転出リスクの予見、移住定住の促進



### スケジュール

10月	11月	12月	1月	2月
設問設計	アンケート発送 ～WEB回答	集計・分析 事業企画に反映		レポート作成

**9月補正予算**

## ⑧ ラムサール条約登録、次の一步を

～地球温暖化対策事業～



122万円

財源区分：単独

ラムサール条約湿地登録を契機として、条約の目的である3つの柱の更なる推進を図ります。

### 柱の① 保全・再生

猪苗代湖の環境美化保全に取り組まれている団体等の活動成果発表、顕彰事業



【湖南高校 湖岸清掃活動】

#### ◆ラムサール条約交流会 (10月頃)

⇒ [条約登録を契機に事業を創出](#)

- ・有識者によるセミナー
- ・関連団体による事例発表
- ・パネルディスカッション
- ・条約登録の原動力となった関連団体への顕彰



【交流会の開催イメージ】

### 柱の② 賢明な利用

地域住民・観光客への環境啓発、関係機関や企業活動との連携促進



【湖周遊サイクリング「イナイチ」】

#### ◆地域住民・企業等へのPR活動

- ・市内イベントでのPR (9件)
- ・福島県連携イベントでのPR (6件)
- ・啓発グッズの作成、PR
- オリジナルエコバッグ **補正 51万円**
- リーフレット **当初**
- PRビデオ **当初**
- 紙製クリアファイル
- ・メディア活用周知



【郡山駅サイネージ】

### 柱の③ 交流・学習

条約湿地関係自治体との交流や小中学校等との連携・次世代への意識啓発



【湖南小中学校 エコクラブ】

#### ◆条約締約国会議 (COP15) 参加

- ・COP15参加 (7/26) **当初**
- ・市長、県知事への報告会 (市長：7/31、県知事：8/25)



【登録証】

#### ◆関係市町村との連携

- ・登録湿地市町村会議 (11/6) **補正 71万円**

#### ◆次世代への意識啓発

- ・出前講座のメニューを新設

※債務負担行為

## I 選ばれるまち

○ふくしまデスティネーションキャンペーン（ふくしまDC）関連事業			
・ふくしまデスティネーションキャンペーンの推進		769万円	※
・歴史情報博物館企画展「ゆる鉄のまち・こおりやま」の開催 （ふくしまDC連携企画）		677万円	※
・美術館企画展「北斎・広重 大浮世絵展」の開催（ふくしまDC連携企画）		1,000万円	※
○デンソーエアリービーズ練習用体育館 建設用地に係る借地権契約を締結 （水道事業会計営業外収入）		1,110万円	

## II 新たな行政課題や需要への対応

○交通渋滞の緩和を目指して都市計画道路 日和田喜久田線を拡幅		2,070万円	
○放課後児童クラブの増設		4,327万円	
○選挙の投票所入場券の様式変更		1,146万円	※
○市民活動サポートセンターによる地域活動支援の充実		5,847万円	※
○乗合タクシーで持続可能な公共交通体系を構築		3,156万円	※
○【ゼロ市債】道路や側溝などの生活環境改善		6億500万円	※

12月補正予算

# 新 ふくしまデスティネーションキャンペーン (ふくしまDC) 関連事業



本年4月から6月に実施されたプレDCに引き続き、本番DCに向けて更なる観光誘客を図るための事業を推進し、官民一体での事業展開を進めます。

## 郡山市の主な実施事業

### 【プレDC期間（令和7年4～6月）における取組】

- ・ こおりやま御朱印めぐり
- ・ ホールコンサート in 郡山駅
- ・ 湯けむり地酒さんぽ（磐梯熱海温泉観光協会との共催）
- ・ 「全国宣伝販売促進会議」におけるこおりやま広域圏の観光PR
- ・ DC特別企画の宣伝広報の支援



### 【本番DCに向けた取組（予定）】

- ウェブサイト・SNS連動による情報発信（P.8）
- こおりやま広域圏 桜フォトキャンペーン（P.8）
- ふくしま&ラッキー 市内周遊スタンプラリー（P.8）
- こおりやま御朱印めぐりPR（P.8）
- ゆる鉄のまち・こおりやま展（P.9）
- 北斎・広重 大浮世絵展（P.10）



※その他、首都圏での観光物産PR等について、令和8年度当初予算で計上予定

### 市内事業者の主な実施事業（予定）

#### 【実施期間：4～6月】

- ガストロノミーツーリズム  
食・文化・工芸・温泉を融合した  
宿泊体験（ホテル華の湯ほか）

#### 【実施時期：6月】

- 早朝ブルーベリー狩り食べ比べ体験  
（ベリーズパーク郡山（片平町））



※市内で展開される事業を市が県と共に情報発信

**12月補正予算**

# 新 ふくしまデスティネーション キャンペーンの推進

～ふくしまデスティネーションキャンペーン推進事業～



769万円

(債務負担行為)  
財源区分：単独

ふくしまDC期間に合わせ、本市への更なる観光誘客を図るための事業を推進し、地域経済を活性化して「選ばれるまち」を目指します。

## 事業概要

### ウェブサイト・SNS連動による情報発信



### こおりやま広域圏桜フォトキャンペーン



### ふくしま&ラッキー市内周遊スタンプラリー



© Pokémon. © Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.  
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

### こおりやま御朱印めぐりPR



- ✓ 魅力的なコンテンツの発掘・モデルコースの造成
- ✓ ウェブサイト・SNS連動による情報発信
- ✓ 訪日旅行者（インバウンド）へのアプローチ

実施期間：2～6月  
予算額：61万円（委託料）

- ✓ 桜をテーマとしたフォトコンテスト（4～5月）
- ✓ 有名フォトグラファーとのフォトスポット巡り（6月）
- ✓ フォトコンテスト受賞作品の首都圏での写真展（9月）

実施期間：4～9月  
予算額：500万円（委託料）

- ✓ 市内施設8か所（スペースパーク、歴史情報博物館、大安場史跡公園など）にスタンプを設置
- ✓ スタンプを集めた方に賞品をプレゼント（観光案内所で引換）

実施期間：4～6月  
予算額：160万円（委託料）

- ✓ DC期間限定の御朱印を頒布する寺社（予定：24か所）が掲載された御朱印マップを作成

【参考】  
プレ期間：16か所

計9,000枚頒布  
**12月補正予算**  
実施期間：4～6月  
予算額：48万円（委託料）

# 新 デンソーエアリービーズ練習用体育館 建設用地に係る借地権契約を締結

～水道事業会計～



1,110万円  
営業外収入

旧豊田浄水場跡地の一部を貸与する事業用定期借地権契約を株式会社デンソーと締結し、スポーツ振興事業と地域貢献活動への連携や、地方公営企業として資産利活用を図ります。

## 契約内容等

- (1)対象地 郡山市豊田町地内（右図のとおり）  
※水道事業会計の普通財産土地
- (2)面積 9,889.84㎡
- (3)貸付期間 20年（令和7年12月1日～27年11月30日）
- (4)賃料 年額3,350万円 ※不動産鑑定評価額による
- (5)補正額 令和7年度分賃料 1,110万円



## 〈これまでの経過〉

H29年 11月	株式会社デンソーと郡山市がホームタウンパートナーに関する協定を締結
R6年 4月	S Vリーグ2024-25 シーズンから本拠地を郡山市へ移転する旨を発表（株式会社デンソー・県・市が合同記者会見）
R6年 5月	株式会社デンソーがデンソーエアリービーズの練習用体育館建設地として「旧豊田浄水場跡地」の一部借用（有償）についての要望書を提出
	「郡山市、郡山市上下水道局及び株式会社デンソーとの『デンソーエアリービーズ練習用体育館建設』に関する協定」を締結





2,070万円

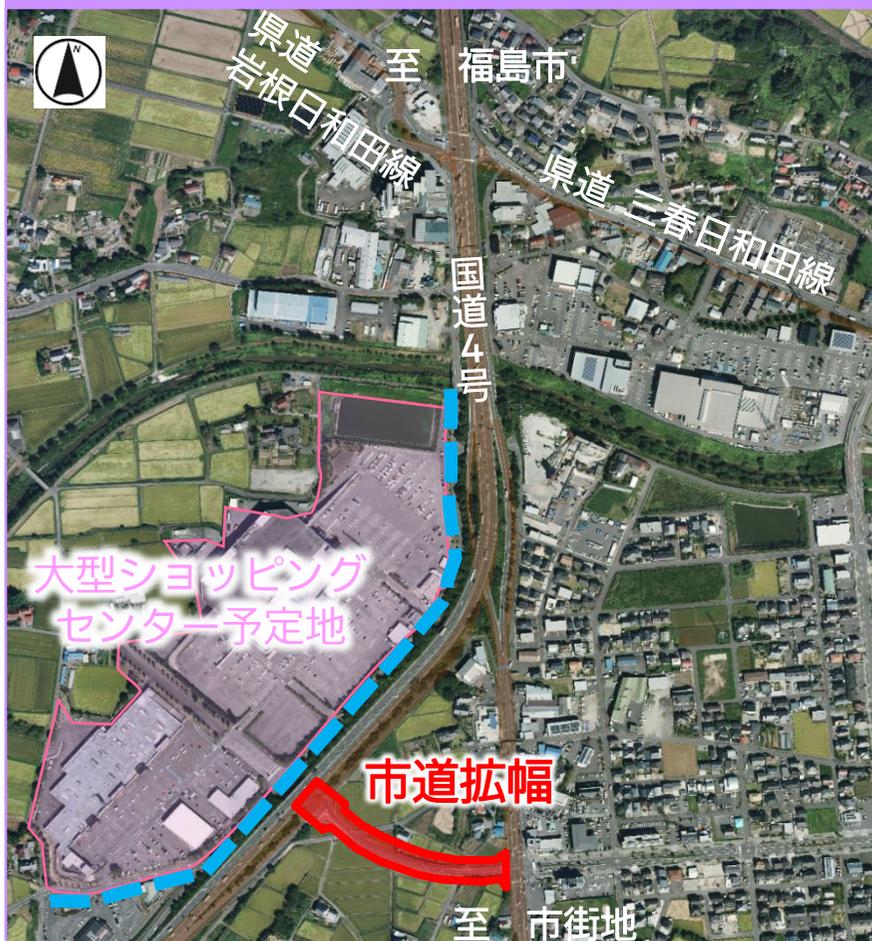
(繰越明許)  
財源区分：単独

# 新 交通渋滞の緩和を目指して 都市計画道路 日和田喜久田線を拡幅

～幹線道路新設改良舗装事業～

大型ショッピングセンター開業に伴う交通渋滞の緩和及び歩行者の安全確保を図るため、都市計画道路 日和田喜久田線整備に係る設計を実施します。

## 1 位置図



## 2 事業概要

- (1) 路線名 都市計画道路 日和田喜久田線
- (2) 整備延長 300m (幅員 30m ※現況11m)
- (3) 事業内容 測量及び設計委託 (予備設計)
  - 道路予備設計
  - 交通量推計
  - 交差点予備設計
  - 地形測量

### (4) イメージ



### (5) 事業工程



※青破線：事業者による道路拡幅

# 乗合タクシーで持続可能な公共交通体系を構築

～乗合タクシー運行事業～



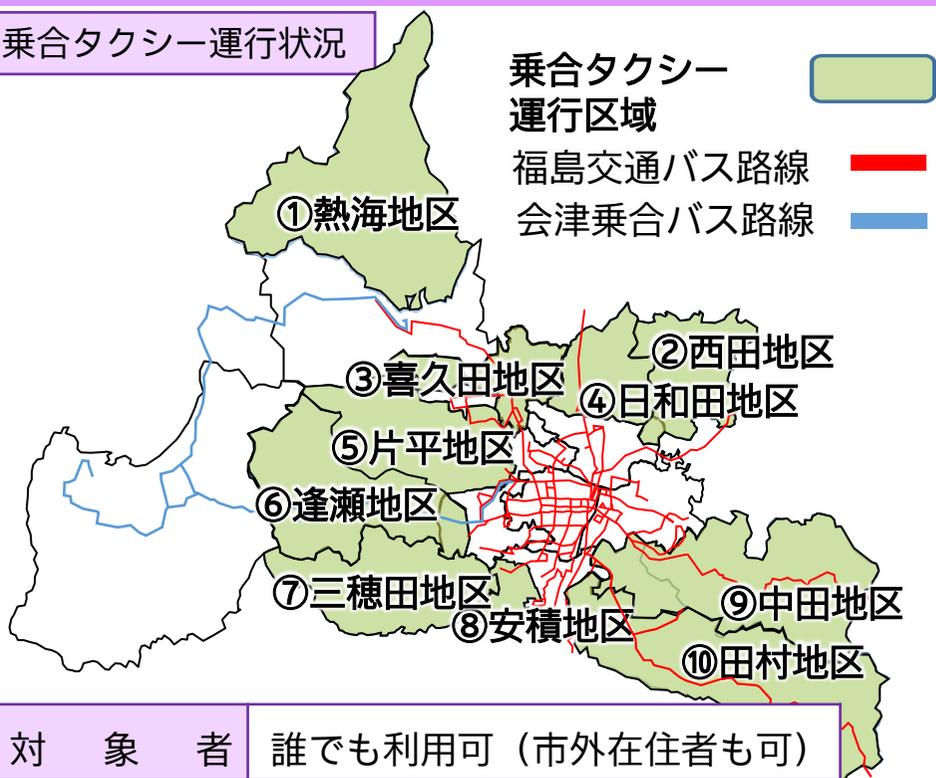
3,156万円

(債務負担行為)  
財源区分：単独

令和8年度は市内の郊外地域（10地区）で乗合タクシーを継続して運行し、こどもから高齢者まで誰でも利用可能で持続的な公共交通ネットワークの維持・充実を図ります。

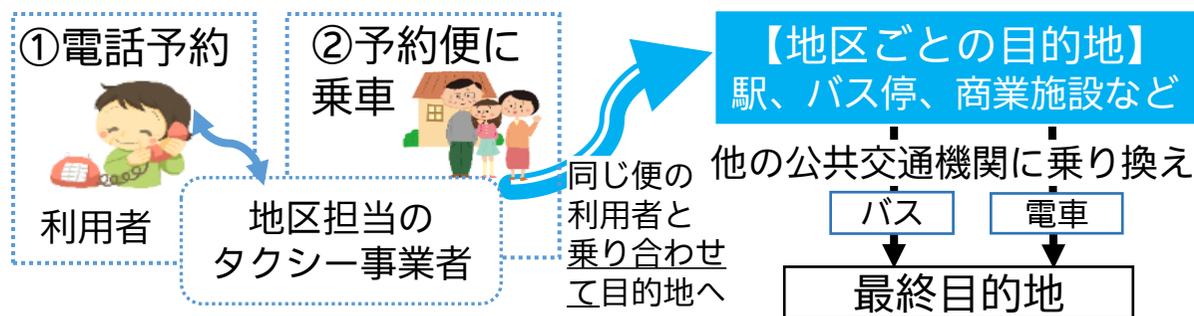
## 1 事業概要

乗合タクシー運行状況



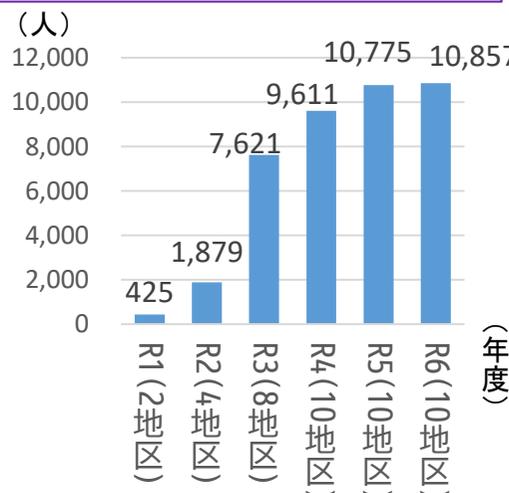
対象者	誰でも利用可（市外在住者も可）
予約方法	電話による事前予約制
運賃（1人1回）	大人500円 障がい者・高校生以下250円 未就学児無料

## 2 利用の流れ

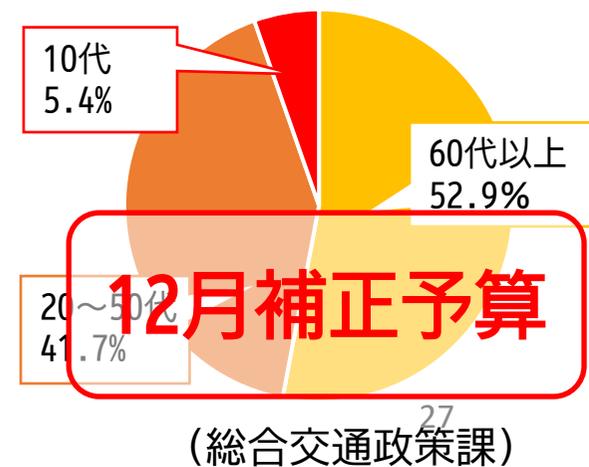


## 3 利用状況

年度別利用者数の推移



令和6年度年代別利用内訳



# 経済の発展を 目指して

# ② 農商工等連携による販路拡大

～郡山産農産物等販売促進事業・海外交流販路開拓支援事業～



194万円

財源区分：単独

国内外の販促活動により、農林水産物・食品等の戦略的な販路・輸出拡大を図ります。

## ③ 郡山産農産物等販売促進事業 175万円

全国に誇れる本市の産品を、首都圏等においてPRします。（連携：こおりやま食のブランド推進協議会）

### 1 販促キャンペーン計画（案）

J A 福島さくら青果物販売対策トップセールス

【7月 東京都内】J A、生産者、自治体が一体となってPR

ふくしままるごとフェア

【9月 東京都内】県内自治体と連携

こおりやま観光物産フェアin奈良

【10月 奈良市】姉妹都市交流、並びに農作物等PR

渋谷区くみの広場

【11月 東京都内】災害時相互応援協定都市との交流と農作物PR

### 2 本市特産品

あさか舞、ASAKAMAI887、郡山ブランド野菜、鯉、阿久津曲がりねぎ、日本酒、梨、うねめ牛、ワイン 等



あさか舞



ASAKAMAI 887

### 3 補正予算の内容

首都圏等での販促活動

## ③ 海外交流販路開拓支援事業 19万円

欧州連合（EU）の国際都市・地域間協力プログラム※（2017～2023）のご縁を活用し、戦略的な販路・輸出開拓を図ります。

### ※国際都市・地域間協力プログラム

持続可能な都市の発展とイノベーションの推進を目的に、エッセン市（ドイツ）、グルノーブル・アルプス都市圏（フランス）並びに愛知県豊田市と連携

### 1 方向性

- ・成長する海外市場で稼ぐ方向への転換
- ・輸出、販路拡大による地域産業の振興



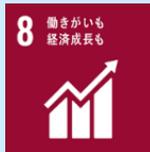
BUSINESS COLLABORATION

### 2 補正予算の内容

ドイツ・NRW州経済振興公使のイニシアチブ（東京）等への出席

6月補正予算

新 KORİYAMA発スタートアップをサポート



457万円

～創業・事業承継支援事業～

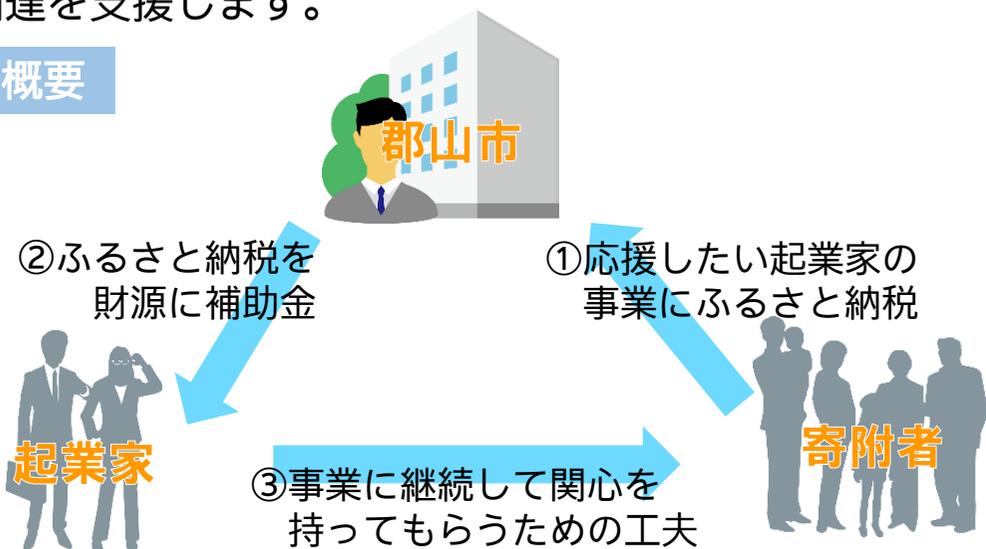
財源区分：補助 国1/2等

スタートアップや事業創出、販路拡大を目指す事業者を後押しするとともに、次世代の起業家育成に取り組みます。

新 ふるさと起業家支援事業 100万円

本市で事業を立ち上げた起業家に、クラウドファンディング型ふるさと納税の仕組みを活用し、資金調達を支援します。

1 概要



2 支援内容

対象者：こおりやま広域圏内の起業家（創業10年未満）  
補助額：100万円（財源：ふるさと納税）

新 起業家教育事業 357万円

「起業家精神」や「ビジネス知識」を起業家から学ぶ教育プログラムを実施し、次世代の起業家を育成します。

1 概要

対象：こおりやま広域圏内の高校生等（20名程度）

内容：先輩起業家による講演・レクチャー  
社会課題解決に向けたワークショップ  
事業アイデアのブラッシュアップ  
報告会でのプレゼンテーション

計画：10月～ 参加者募集  
12月頃 プログラム（2日間）  
～2月 個別支援  
3月 発表会

2 補正予算の内容

起業家教育プログラムの実施

6月補正予算

⑧ 企業誘致及び立地企業の事業拡大を推進



582万円

～企業誘致活動事業～

財源区分：補助 その他

展示会の出展やトップセールスによるPR活動、並びに立地企業交流セミナーの開催を通じ、企業の誘致及び立地した企業の事業拡大を推進します。

⑧ (仮称)こおりやま広域圏立地企業交流セミナー 500万円

交流会開催を通して、新たな販路開拓・サプライチェーンの構築等による地域産業の更なる活性化及び圏域内総生産の向上を図る。

1 開催概要

時期：令和7年12月頃

会場：郡山市内コンベンション施設

対象：こおりやま広域圏 ※拡大

定員：約300名（企業・支援機関等）

内容：第1部 基調講演

第2部 交流会・ミニプレゼン

2 補正予算の内容

セミナーの開催



【昨年度の様子 参加者：116団体242名】

⑧ 郡山市PR活動事業 82万円

各種展示会に出展し、新規立地や生産設備増設意向のある企業情報等を収集するとともに、本市の支援制度や立地環境をPRする。

1 出展予定

※赤枠：6月補正分

	ものづくり ワールド東京	REIF ふくしま	メディカル フロンティア ふくしま	メッセゴヤ 2025
概要	国内最大級の 製造業展示会	再エネ関連展 示会	医療機器産業 展示会	国内最大級の 異業種展示会
開催地	千葉市	郡山市	郡山市	名古屋市
日程	7/9～11	10/16～17	10/29～30	11/5～7

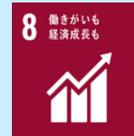
2 補正予算の内容

メッセナゴヤ  
への出展



【開催の様子（メッセナゴヤ2024）】

## 新 効果的な企業誘致に向けた動向調査を実施



150万円

～企業誘致活動事業～

財源区分：単独

若年層の流出防止や移住・定住促進につながる企業誘致を効果的に進めるため、首都圏企業等を対象とした投資動向調査を実施します。

### 概要

- 目的：**調査をもとに、効果的な誘致施策を展開し、若年層が就職先として希望する企業の誘致につなげる。
- 対象：**若年層が就職先として希望する首都圏等企業
- 内容：**対象業種の企業に、首都圏以外への進出可能性や、進出にあたっての条件等を調査する。

### スケジュール

9月	10月	11月	12月	1月	2月
	契約		調査実施・分析		

### 調査イメージ

#### 【若年層の就職動向分析】



就職活動の際に重視する要素や希望する業種などについて分析

#### 【調査対象企業抽出】



ターゲット業種を絞り、対象企業を抽出

#### 【アンケート調査】



対象企業にアンケート調査

#### 【結果分析】



**9月補正予算**  
結果を分析し、施策を検討

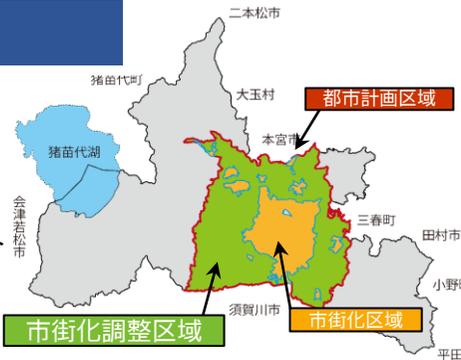
# その他の 主要な取り組み

# 都市計画法第34条第12号（市街化調整区域における開発許可等の基準）に基づく条例の制定について



## 1 条例制定の背景

□区域区分(市街化調整区域)の決定  
都市計画法第7条に基づき、本市では、1970(昭和45)年10月15日に区域区分が決定され、約55年にわたり、市街化調整区域において、法律で認められた建築物以外の建築物の建築が制限されてきました。



□都市計画法第34条第12号を活用した条例の制定

近年の気候変動、人口減少・超高齢社会の進行等に伴う、多様な土地利用に対する社会的要請が高まっていることから、本市では、**市街化調整区域内の区域を指定し、予定建築物等の用途を定め、一戸建て住宅等の建築が可能となる条例を制定します。**

## 2 条例の概要

郡山市都市計画マスタープランの土地利用方針に基づき、都市計画法第34条第12号に基づいた「**郡山市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例**」を制定します。

区域設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街化調整区域のうち、50戸以上の建築物が連たんしている既存集落で相互間が50m以内の区域。</li> <li>・但し、農振法で定められた「農用地区域」及び政令で定める災害ハザードエリア(土砂災害警戒区域、浸水による早期立ち退き避難区域等は含まれません。)</li> <li>・指定区域(案) 63地区</li> </ul> <p style="text-align: center;">指定区域(案)のパブリックコメントの実施 令和7年3月10日(月)から4月9日(水)まで</p>	
建築物の用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己用の一戸建て住宅</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兼用住宅</li> </ul> <p>(住宅で事務所、店舗その他これらに類する用途を兼ねる)</p> 

既存集落区域内での一戸建て住宅等の開発・建築規制緩和

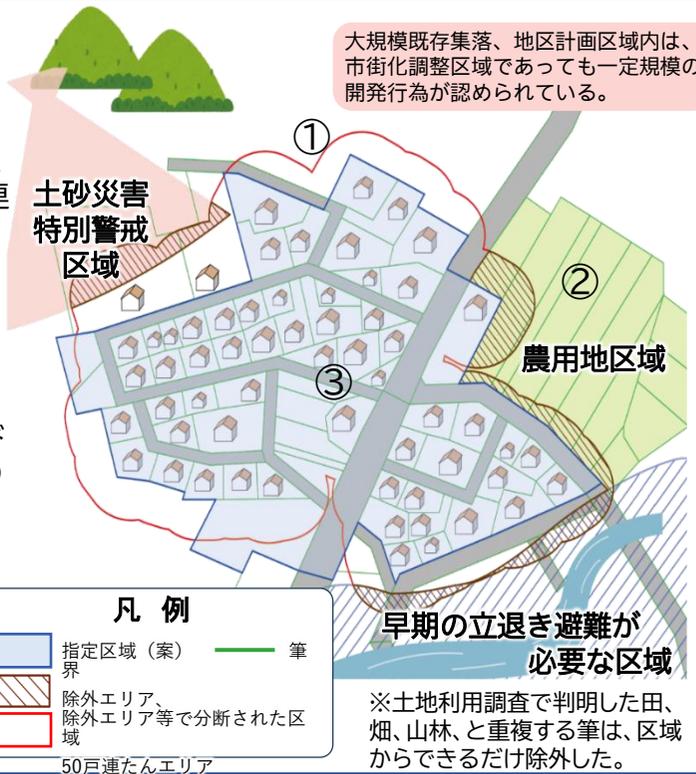
## 3 指定区域のイメージ

①50戸連たんエリアの抽出  
建築物が概ね50m以内の間隔で50戸以上連たんしている区域(50戸連たんエリア)を抽出

②除外エリアの除外  
開発が制限される農用地区域や土砂災害特別警戒区域などのハザードエリアが重なる区域を①から除外

③区域の設定

①②の検討を基に、地形地物(道路、水路等)、または筆界で区域を設定



## 4 スケジュール

令和6(2024)年度						令和7(2025)年度				
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
	住民説明会 11/11 ~ 11/26		開発審査会 都市計画審議会 1/30 1/28		パブリックコメント 3/10 ~4/9			6月定例会 上程	条例施行 7/3	

# 都市計画法第34条第12号（市街化調整区域における開発許可等の基準）に基づく条例に係る指定区域の数について



2025/7/3 都市構想部都市政策課

地区名	指定区域の数
東 部	8
大 槻	5
安 積	1
三穂田	10
逢 瀬	5
喜久田	3
日和田	5
富久山	5
熱 海	6
田 村	11
中 田	4
計	63



# 郡山西部第一工業団地にも、新たに工場が…。 企業の皆様に感謝です



9月22日  
ライオンフーズ株式会社 様

土地売買契約締結式  
※県内初の製造拠点2028年4月  
の稼働予定



9月25日  
ワボウ電子株式会社  
福島工場 様

新築工事地鎮祭  
※2027年2月稼働予定



1月13日  
株式会社幸楽苑様

土地売買契約締結式  
※2028年12月稼働予定

## ■その他今後の予定

令和8年2月5日 東日本倉庫株式会社「郡山物流パーク」 竣工式（西部工業団地内）  
令和8年2月18日（水） 寿泉堂クリニック（プラウドタワー郡山） 竣工式（郡山駅前）

# 福島郡山LLタウンB棟新築工事竣工式 及び災害支援協定締結式 2025/10/20



株式会社フクダ・アンド・パートナーズ 様、  
ヤマトホールディングス株式会社 様、プロロジス 様、  
NTT東日本株式会社 様と、本市の5者による災害支援協定を締結しました。

## 物価高騰から暮らしと経済を守る緊急対策①

### 26億1,292万円

財源区分：国（10/10：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）

### ☆ 市民・事業者への幅広い支援

#### 水道料金等負担軽減事業 **家計・経営支援**

市民の暮らしの支援と事業者への物価高騰負担の軽減を図るため、幅広く全ての市民・事業者を対象として、水道料金(簡易水道料金を含む)のうち、準備料金(基本料金)半年分(6か月分<3回の徴収分>)を免除する。

※給水区域外の世帯に対しては、「家計支援給付金」を支給する。

### 13億1,662万円

全ての水道契約者(官公署を除く)

### 水道料金(準備料金) 半年分 免除

参考【免除料金(半年分)】

口径13mm：6,360円、口径20mm：17,220円  
(簡易水道 口径13mm：3,780円、口径20mm：10,320円) (上下水道局・政策開発部等)

**対象**  
全水道契約者  
(約140,000戸)

**開始時期**  
令和8年6月頃

郡山市

国・県 の主な緊急対策

国	ガソリン	1.2万円/1世帯
	電気・ガス	7千円/3月
	所得税	2~4万円程度
	重点支援交付金の拡充	
県	省エネ家電	5千pt~4万pt
	LPGガス	2千円/1世帯
	旅行割引	3千円

### ☆ 個人・家計等の生活者支援(重点支援)

#### 住民税非課税世帯への給付事業

物価高騰の影響をより強く受ける低所得世帯の生活を守るため、住民税非課税世帯1世帯あたり1万5千円を支給する。

### 5億6,000万円

住民税非課税世帯

### 1世帯あたり1万5,000円 支給

**対象**  
約30,000世帯

**支給時期**  
令和8年6月頃  
(保健福祉部)

#### 高齢者(75歳以上)世帯への給付事業

年金生活者等、高齢者の生活を守るため、75歳以上のみの高齢世帯1世帯あたり1万5千円を支給する。

### 2億8,500万円

75歳以上高齢者世帯

### 1世帯あたり1万5,000円 支給

**対象**  
約15,000世帯

**支給時期**  
令和8年6月頃  
(保健福祉部)

#### 物価高対応子育て応援手当支給事業

12月定例会 議決済 市独自分 2億3,700万円

物価高騰の影響をより強く受ける子育て世帯を力強く支援するため、児童手当を受給している保護者に対して、国の支給額(児童1人あたり2万円)に加えて、市独自に5千円を上乗せして支給する。

対象児童

### 1人あたり 5,000円 支給

(国2万円と合わせて、2万5,000円を支給)

**対象**  
47,400人

**支給時期**  
令和8年3月~  
(こども部)

国・県 の主な緊急対策

国	物価高対応子育て応援手当の支給	2万円
---	-----------------	-----

基礎自治体としての効果的な支援策

## 物価高騰から暮らしと経済を守る緊急対策②

26億1,292万円

財源区分：国（10/10：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）

### ☆ 事業者への支援

郡山市

国・県の主な緊急対策

#### 中小企業等賃上げ支援事業

中小企業支援

市独自分 1億 500万円

最低賃金の引上げにより経営への影響が懸念される市内中小企業等を支援するため、県の「中小企業賃上げ緊急一時支援事業」の支給額（労働者1人あたり3万円）に加えて、市独自の取り組みとして1万円を上乗せして支給する。

対象事業所

労働者1人あたり **1万円** 支給  
(県3万円と合わせて、4万円を支給)

対象  
約10,000人

支給時期  
令和8年2月頃  
(農商工部)

県  
賃上げ支援 3万円/1人  
特別高圧 ~300万円  
交通事業者等 1.5万円~20万円  
※ 1台あたり  
※ 種別により異なる

#### 飼料価格高騰緊急対策事業

農林業支援

畜産農家

5,320万円

飼料価格の高騰の影響を受ける畜産農家の負担を軽減するため、乳用牛・肉用牛の保有頭数に応じて、1頭あたり4,000円~1万7千円を支給する。

1頭あたり  
乳用牛 1万7,000円  
肉用牛(肥育) 9,000円  
肉用牛(繁殖) 4,000円 支給

対象  
127戸 5,920頭

支給時期  
令和8年3月頃  
(農商工部)

県  
乳用牛 5,200円  
肉用牛 3,050円  
1頭あたり  
養鶏(100羽) 1,950円  
養豚 550円  
※ その他に農業水利施設、漁業者、清酒事業者等への支援あり

#### 酒米高騰支援事業

農林業・物産支援

250万円

酒米の高騰の影響を受ける市内酒蔵の負担を軽減するため、県が実施する令和7年産米を購入する際の価格上昇分の一部補助に加えて、市独自の取り組みとして1歳あたり50万円を上限に補助金を支給する。

市内酒蔵

1歳あたり ~上限 **50万円** 支給

対象  
5歳

支給時期  
令和8年3月頃  
(文化スポーツ観光部)

#### 民間児童施設光熱費等支援事業

保健福祉支援

5,200万円

原材料価格等の高騰による民間児童施設の運営経費の負担の軽減を図るため、各施設（認可・認可外保育所、認定こども園、幼稚園、民間放課後児童クラブ）に対して、児童数区分ごとに支援金を支給する。

認可・認可外保育所、認定こども園、幼稚園、民間放課後児童クラブ

児童数区分12万2,000円~146万9,000円支給  
※民間児童クラブ3万5,000円~4万2,000円

対象  
民間児童各施設

支給時期  
令和8年3月頃  
(こども部)

国  
医療機関  
※ 別途経営改善支援有  
介護施設 賃上げ支援  
最大 月1.9万円/1人  
(半年分)

#### こども食堂支援事業

こども支援

160万円

物価高騰の影響を受けるこども食堂の経費負担の軽減を図るため、こども食堂運営団体に対して、支援金を支給する。

こども食堂

1食堂あたり  
1万2,000円 ~ **13万円** 支給

対象  
36食堂

支給時期  
令和8年3月頃  
(こども部)

県  
医療機関 10~200万円+α  
薬局等 ※ 種別、病床数により異なる  
福祉・保育施設、学校  
1.6~47.9万円  
※ 種別、定員により異なる

# 令和8年4月1日付け 行政組織改編

## 組織改編の 理念

- 1 市政運営方針の3つの基本方針である「選ばれるまち」「暮らしの充実・笑顔になれるまち」「経済の活性化」の実現を目指す組織体制の構築
- 2 国の動向や社会情勢に対応した簡素かつ効率的な組織体制の構築

	改編内容	改編目的	関係部局名
選ばれるまち	<b>政策開発部へ選ばれるまち推進課を新設</b>		政策開発部
	文化スポーツ観光部観光政策課シティプロモーション係を <b>魅力発信係</b> へ改称し、選ばれるまち推進課へ移管	少子高齢化と人口減少が進む中においても、様々な分野において選ばれる都市であり続けるため、本市の魅力発信するシティプロモーションに特化した組織を新設する。 このことにより、地域と多様に関わる関係人口、移住・定住者の増加、また、ふるさと納税、企業版ふるさと納税による本市を応援してくれる人の増加を目指す。	政策開発部 文化スポーツ観光部
	選ばれるまち推進課へ <b>移住・定住推進係</b> を新設のうえ、移住・定住に関すること、人口減少対策の施策に関すること及び地域おこし協力隊に関することを事務移管		政策開発部
選ばれるまち推進課へ <b>税務部市民税課</b> のこおりやま応援寄附金に関する事務を事務移管	税務部		
2	政策開発部政策統計課を <b>統計戦略室</b> とし、未来創造課へ再編	人口減少や少子高齢化などの構造的な課題に対し、エビデンスに基づく政策立案(EBPM)の考えを取り入れながら政策立案と統計分析を一体的に推進し、計画的かつ戦略的なまちづくりに取り組む。	政策開発部
3	総務部行政マネジメント課のPFIに関する事務を財務部公有資産マネジメント課へ事務移管	事務を移管することで、公共施設マネジメントにおいて施設方針と一体的にPFIの導入を検討する体制を構築し、財政負担の軽減や民間の活力を生かした市民サービスの向上を図る。	総務部 財務部
笑顔になれるまち 暮らしの充実・	上下水道局水道施設課と浄水課を <b>水道整備課と水道保全課</b> へ再編 水道整備課へ <b>事業係、整備係、施設更新係及び管路更新係</b> を置く 水道保全課へ <b>管理係、施設維持係、管路維持係、漏水対策係、水質管理室、堀口浄水場及び荒井浄水場</b> を置く	高度経済成長期に急速に整備された施設の老朽化への対応が喫緊の課題であり、整備部門と維持管理部門に再編し、水道施設の更新、耐震化事業を加速化する。 また、将来の水需要に見合った適切な水道施設計画、官民連携の整備手法などを取り入れた整備計画や予防保全に係る計画などを策定し、安全な水道水を安定して供給する。	上下水道局
	環境部5R推進課を <b>ごみ減量推進課</b> へ改称	組織名を改称し、本市の「ごみ減量」に向けた強い決意を表明するとともに、市民へ取組を分かりやすく周知し、「郡山ごみ減量20%」を目指す。	環境部
	環境部資源循環課へ <b>施設整備室</b> を新設	施設整備室を新設し、河内クリーンセンターを始め4つの老朽化した一般廃棄物処理施設について、施設方針検討及び再整備を行い、安定した処理体制の確保を目指す。	環境部
	建設構想部住宅政策課住宅企画係を <b>空家対策係</b> へ改称	少子高齢化と人口減少に伴い課題となっている空家等の増加及び老朽化に対し集中的かつ効果的に課題解決に取り組む。	建設構想部
	教育委員会地域図書館の書籍等管理を中央図書館へ一元化し、室相当から係相当へ再編	希望ヶ丘図書館を始めとする3つの地域図書館の書籍等管理を中央図書館へ一元化し、管理・運営の効率化及び地域図書館の課題解決支援機能の充実を図る。	教育委員会
経済の活性化	1 農商工部農業政策課農業経営・法人・アグリテック推進係を <b>経営支援係</b> へ改称	農業従事者数の減少や高齢化等の課題に対し、新規就農、担い手支援のほか、農地活用やスマート農業の推進を始めとした経営支援により農業経営基盤の強化を図る。	農商工部
	2 農商工部園芸畜産振興課を <b>農業生産流通課</b> へ改称 園芸畜産振興課園芸推進係を <b>生産振興係</b> へ改称	稲作、園芸作物、畜産など農業全体の持続可能な発展を図るとともに、農業を次世代につなぐ環境づくりのため、農産物の6次化や国内販路拡大の取組を更に強化し、稼ぐ農業を目指す。	
	3 農商工部総合地方卸売市場管理事務所の管理係及び事業係を統合し、係制を廃止	係制を廃止し維持管理部門と市場運営企画部門相互の柔軟性を高め、多角的な視点から創意工夫し、市場活性化と経営基盤の強化を図る。	農商工部
	4 建設構想部道路計画課計画・アイコンストラクショナル推進係を <b>計画係</b> へ改称し、アイコンストラクショナルに関する事務を契約検査課へ事務移管	アイコンストラクショナルを全庁的に事業展開し公共工事に活用することで、担い手不足が課題となっている建設業界全体のDX推進、働き方改革を推進する。	財務部 建設構想部

# ひら 未来を拓く開拓者たち



# 郡山市第7次総合計画

## 将来都市像

郡山市は、安積開拓以来の開かれた気風と、多様性を受け入れる懐の深さによって、多くの人々が集い、つながり、まちを創り、東北を代表する都市へと発展を続けてきました。

そして、これからも「選ばれるまち」であり続けるために、こども、若者、子育て世代、高齢者、障がいのある方まで、すべての市民が学び、働き、挑戦し、笑顔で暮らせる環境づくりを進めていきます。

将来都市像の「東北の鼓動」には交通・経済の拠点として、東北に活力を送り出してきた本市のポテンシャルを再確認し、鼓動のように力強く躍動するとともに、医療をはじめとする充実した生活環境のもと、すべての市民が健康で生きいきと暮らし続ける姿を思い描いています。

「未来を奏でる」には、脈々と受け継がれる開拓者精神やこれまで育まれてきた豊かな音楽文化のもと、未来への新たな創造の響きを奏でていくという意味を表現しています。

「選ばれるまち」の合言葉とともに、市民一人ひとりが主役となり、それぞれの個性と可能性が輝く郡山を、未来を切り拓く世代とともに創り上げることが、私たちの目指す都市像です。

## 東北の鼓動

## 未来を奏でる

## 「選ばれるまち」

## 郡山